

製品名: NUP98 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82646**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	197.5kDa

抗原情報

遺伝子名	NUP98
別名	ADIR2; NUP96; NUP196; Nup98-96
遺伝子 ID	4928.0
SwissProt ID	P52948
免疫原	大腸菌で発現したヒト NUP98 (AA: 1-218) の精製された組み換え断片。

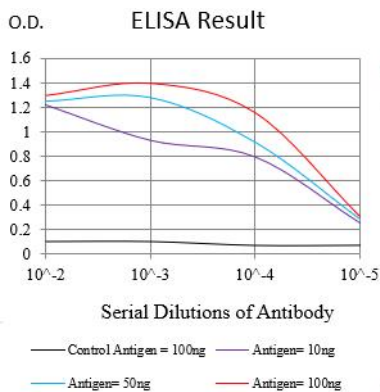
背景

核膜孔複合体 (NPC) は、核と細胞質間の高分子輸送を制御し、多くのポリペプチドサブユニットから構成されています。その多くはヌクレオポリンファミリーに属します。この遺伝子はヌクレオポリン遺伝子ファミリーに属し、186 kDa の前駆体タンパク質を

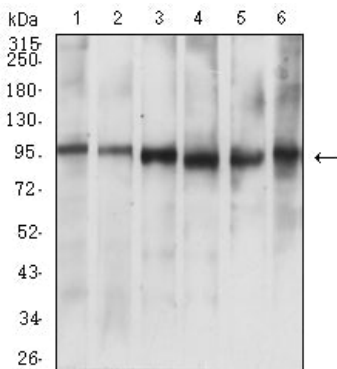
コードしています。このタンパク質は自己タンパク質分解による切断を受け、98 kDa のヌクレオポリンと 96 kDa のヌクレオポリンを生成します。98 kDa のヌクレオポリンは、グリシン-ロイシン-フェニルアラニン-グリシン (GLGF) 反復ドメインを含み、核内輸送、核外輸送、有糸分裂の進行、遺伝子発現の調節など、多くの細胞プロセスに関与しています。96 kDa のヌクレオポリンは NPC の足場となる構成要素です。タンパク質分解による切断は、タンパク質を NPC へ輸送するために重要です。この遺伝子と他の多くのパートナー遺伝子との間の転座は、様々な白血病において観察されています。転座は典型的には、この遺伝子の N 末端 GLGF ドメインがパートナー遺伝子の C 末端に転移したキメラ遺伝子を引き起こします。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 2 つはタンパク質分解によって処理されます。一部のバリエーションは、96 kDa の核膜タンパク質をコードする領域を欠損しています。

研究分野

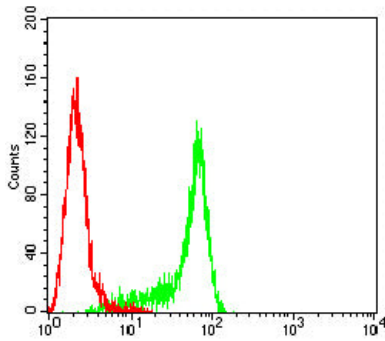
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



A549 (1) 、L-02 (2) 、Hela (3) 、Jurkat (4) 、HL-60 (5) 、および COS7 (6) 細胞溶解物に対する NUP98 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



NUP98 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。